

土付育苗における各種被覆資材の実用性について

今林惣一郎・古城斉一・大隈光善
(福岡県立農業試験場)

IMABAYASHI, S., KOJO, S., OKUMA, M.

On the Utility of several shading Sheet for Rasing of Rice young Seedling.

土付育苗における出芽後の緑化用資材としては、現在広く利用されている黒色寒冷しゃよりもさらに遮光率が高い黒色不織布の方がより適していることを明らかにしてきた。本研究ではさらに、最近市販されるようになった各種被覆資材について、その実用性を検討するとともに、播種直後より屋外に並べて、出芽させる場合の被覆効果についても検討を行なったので、その概要を報告する。

1. 試験方法

試験Ⅰ〔緑化用資材について〕 露地積重ね出芽を行なった後、育苗箱を揚床水苗代に置いて、所定の資材で3日または6日間被覆した。供試品種 レイホウ。播種期 5月29日。水管理 下部給水。

試験Ⅱ〔出芽・緑化用資材について〕 播種直後から育苗箱を揚床水苗代へ一面に並べて置き、所定の資材で6日間被覆した。その他は試験Ⅰと同じ。

2. 試験結果および考察

1) 緑化用資材について

黒色不織布: 遮光率70~90%のものはすでに一部で実用化されているが、本資材も良好な結果が得られており、実用性があると思われる。また遮光率60%のものも苗の生育は寒冷紗と大差なく、それに準じた方法で使用すれば良いと考えられる。なお、黒色であるため苗の葉焼けなどを起す危険性があるので今後他の色のものについても検討を要する。

銀色ポリフィルム: 遮光率が85%と大きい上に保温力もすぐれているので苗の伸長も良好である。被覆期間は3日程度が適当であると考えられる。

着色有孔ポリフィルム: 遮光率が低いなどのため苗の伸長促進効果が低く、他のものよりやや劣るように思われる。

第1表 緑化用各種被覆資材と苗の生育

被覆資材	被覆期間	9日後		20日後		
		苗長	乾物重	苗長	苗令	乾物重
黒色不織布90%	3日間	10.8 cm	10.3 mg/本	14.0 cm	2.8 L	13.8 mg/本
〃 75	3〃	10.1	8.5	13.6	2.8	13.0
〃	6〃	11.2	7.3	15.3	2.5	12.2
〃 60	3〃	7.5	7.0	12.2	2.9	12.6
〃	6〃	9.1	6.9	12.2	2.8	11.2
銀色 ポリフィルム 着色〃有孔	3〃	8.5	8.4	13.4	2.9	14.0
〃	6〃	7.5	6.8	11.2	2.9	13.8
黒色寒冷紗	6〃	7.3	6.6	11.9	2.9	10.8

2) 出芽・緑化用資材について

透明有孔ポリを除いては、いずれも実用性があると考えられる。ただし、銀色ポリは降雨があった場合に、部分的に雨水がたまるので細孔をあけるなどして、再検討する必要がある。着色有孔ポリの場合は、光の透過が良い上に高温障害の危険も少なく、播種後から10日間程度被覆してもよいので、雀害や雨害防止の面からもすぐれていると考えられる。

第2表 出芽・緑化用各種被覆資材と苗の生育

被覆資材	6日後			20日後		
	苗長	苗令	乾物重	苗長	苗令	乾物重
黒色不織布90%	5.4 cm	1.2 L	5.0 mg/本	14.8 cm	2.8 L	13.0 mg/本
銀色 ポリフィルム 着色〃有孔	5.1	1.2	4.9	15.4	2.9	15.2
〃	2.8	1.0	3.7	12.8	3.0	12.0
透明〃有孔	2.0	0.4	3.1	11.7	3.0	9.8